



交通安全教室



今年度も大曲中央自動車学校から講師の先生をお招きし、交通安全について教えていただきました。

今回の教室のキーワードは

ものの見え方 と ブレーキ

自分の感覚と実際を比較して、間違った認識で事故に遭ったり加害者にならないように、体験しながら学びました。

←いつも教室の講師を務めてくださる竹村さん、黒いブーツと青に黄色のラインが入ったウェアがかっこいいです。〇〇ライダーみたいです。

ものの見え方

ものの見え方の特徴は、小さいものは近くに見える。見る角度によって変わる。運転していると、そちらに集中するので見えているものも見えにくくなる（認識しにくくなる）ということが挙げられます。ぬいぐるみを持って立っている人の間を通過してみると、歩いている人はたくさんのぬいぐるみの特徴を捉えていましたが、自転車の方はそれに比べて少なかった。



速く感じたようでした。

↑スピード感覚は、より車に近くに立っている人は、後ろで見えている人たちよりも



ブレーキ!!

★自転車のブレーキを掛ける手順★

足のペダルを止める→ブレーキを掛ける→ブレーキが掛かり止まる
ブレーキを掛けるまでの時間も自転車は動いていますが、そのことを空走距離といいます。それは、自分の体調などにより距離が伸びることがあります。ブレーキが掛かってから止まるまでの距離を制動距離といいます。路面の状況や自転車の整備状況により伸びることがあります。自転車も車も、ブレーキを掛けてもすぐに止まることは出来ません。ものの見え方に感覚のズレがあると、さらに危険な状態になります。今回学んだことを胸に刻んで、交通安全に気をつけましょう。

